

■ 山北地区まちづくり計画 各部会ごとの現状と課題の拾い出しの整理表

資料No.1

基本目標	基本方針	基本方針の具体的項目	現状と課題の拾い出しの整理	
安全・安心な地域づくり (安全・安心部会)	みんなが元気に暮せる地域づくり	思いやりの心を育む福祉活動の推進	①ボランティア活動の場を拡大 ②ボランティア活動実施の周知不足 ③地域間のコミュニケーション不足の解消が必要	
		地域の宝(子)を守り・育てる環境の推進	①地域の子どもは地域で育てる意識を持つ ②子ども達が元気に遊べる環境づくりが必要(家でテレビゲームなどをする子どもが増加) ③出生率の低下・若者の結婚対策に真剣に取り組む必要がある	
		健康とふれあいづくりの推進	①生活習慣の多様化により、生活習慣病が増加している ②健康づくりへの関心を高め、「自分の健康は自分で守る」という意識を高める必要がある ③地域における、楽しみや生きがいづくり、みんなで笑える機会が少ない	
	高齢者と障がい者にやさしい地域づくり	高齢者と障がい者の生きがいづくりの推進	①お茶の間やお茶の間のリーダーが少ない ②高齢者の男性の交流の場が少ない ③当事者団体の意見を反映する機会が少ない	
		高齢者と障がい者を支える福祉活動の充実	①高齢者や障がい者との交流の場の不足 ②地域における高齢者の認知症や障がい者の病についての理解が不足している ③医療機関や買い物等への足の確保に困っている人が多い ④高齢者や障がい者の雇用の確保が必要	
	災害に強い地域づくり	災害から身を守り、共に助け合う体制の推進	①自主防災未組織の集落がある ②災害に対する緊迫感がなく、知識も不十分なため、災害時の対応が困難になるのではないか ③救命救急を実践で活用できる人が少ないのではないか ④避難訓練用のものが多く実用的ではない	
		災害を未然に防ぐ環境の整備	①災害時の避難場所の周知不足・老朽化など、避難体制が十分でない ②災害に繋がる恐れのある箇所がいくつかある ③災害ハザードマップの作成が必要	
	防犯・防火と交通安全で安心な地域づくり	防犯・防火の推進	①消防団員が減少しているため、確保が必要 ②日中は地域外勤務の消防団員が多いため、地元企業の協力も必要 ③高齢者が多いため、詐欺の情報提供や指導が必要	
		交通安全の推進	①高齢者の交通事故が多い ②交通手段が多様化しているため、それぞれの交通ルールについて指導が必要	
	自然と伝統を守り、環境にやさしい地域づくり (環境・文化部会)	自然を守り自然と共に生きる地域づくり	自然を大切にす意識啓発のための研修機会の提供とリーダーの育成	①研修の機会が少ない ②研修内容は身近な内容の方が参加しやすい ③参加しやすい研修体制・職場環境の整備が必要 ④リーダーとなる人材のネットワークづくりが必要(意欲の共有、孤立感の解消、情報の共有のため) ⑤中高年層の経験豊かな者が若い年代に協力する体制づくりが必要
			貴重な資源(海岸・清流・森林)後世に残すための自然保護の推進	①海岸の漂着ごみは、一地域だけの課題ではない ②ごみの不法投棄防止の看板類の増設と、自然保護についての広報活動を充実することが必要 ③花木の植栽運動や山林と里山の環境保全活動が必要
			地球温暖化対策の推進	①地球温暖化に関する研修の機会がない
伝統文化を引き継ぐ心豊かな地域づくり		地域の伝統芸能や貴重な習俗、生業・生活文化の継承	①指導者等が高齢化し、かつ後継者も不足している ②芸能やものづくりなどの知識や技術を習得する機会が少ない ③各地域の盆踊りや伝統芸能などを電子データ化しておくことが必要	
		貴重な民俗資料の保護、保存	①不要となった民俗資料の寄付を求める広報活動を充実することが必要 ②民俗資料を鑑定できる人材育成が必要	
環境にやさしい地域づくり		生活環境・衛生環境を守る意識啓発のための研修機会の提供	①研修の機会が少ない ②研修内容は身近な内容の方が参加しやすい	
		ゴミの減量化、リサイクルの推進	①家庭ごみのリサイクル化を推進し、地域あげてのごみの減量化への取り組みが必要	
		ゴミのポイ捨て、不法投棄の撲滅	①ポイ捨て防止のための活動やパトロールなどの取り組みが必要	

■ 山北地区まちづくり計画 各部会ごとの現状と課題の拾い出しの整理表

資料No.1

基本目標	基本方針	基本方針の具体的項目	現状と課題の拾い出しの整理
産業振興と交流による活気ある地域づくり (産業・交流部会)	産業の振興による活気ある地域づくり	第一次産業を始めとする地場産業の振興と育成	①担い手の減少、高齢化→耕作放棄地、荒れ山の増加→利活用が課題 ②生産物価格の低迷及び、生産コストの増加により労働意欲が低迷している ③小規模農家への営農指導、農協婦人部事業への支援などにより、若い元気な老人が活躍できる場の整備が必要 ④農林漁業連携による資源の活用、後継者育成に取り組むことが必要
		地域特産品の発掘と流通の促進	①赤カブ、アク笹巻等の特産品に続く、気候、風土に適し、付加価値のある特産品開発、それらを販売する場所(例えば国道7号跡地を活用した)が必要 ②少量の生産物(個人生産)を取りまとめる販売システム、組織がない ③まちづくり協議会、農商工林漁業が連携したイベントで山北産物のPRが必要 ④インターネットなどを利用した外部への山北ブランドとしてのPR、販路の整備が必要
	交流と定住による生きがいのある地域づくり	交流人口の拡大	①後継者育成が問題(若い人の事業参画が少ない) ②事業継続のための支援が必要 ③入込客数の減少により観光産業が衰退しているため、イベント等のPRの方法を検討する必要がある ④全産業団体の連携でイベントを実施し、交流人口の拡大を図る必要がある
		定住の促進	①生活環境の不便さが人口流出へつながっている ②起業支援(職の支援)、定住支援(住宅等の支援)などにより移住・定住を推進する事業を検討する必要がある ③交流事業が移住・定住に繋がらない
集落活動と地域づくり組織支援による地域の再生 (コミュニティ部会)	集落活動の支援による地域の再生	集落の活性化実現のための計画の策定とその支援	①集落行事、既存事業も多いので、事業の必要性や目的を再確認する機会が必要 ②人口の減少に対応した集落組織体制への移行も必要
		集落の活性化や課題解決等に向けた取り組みへの支援	①若者の流出、少子高齢化等人口減少を考慮した支援が必要 ②お金の支援だけでなく人材(マンパワー)による支援が必要 ③複数集落の協力・連携体制の構築に対する支援が必要 ④課題の共有、情報交換の場が必要 ⑤助成制度のわかりやすいPRが必要
		集落公民館活動への支援	①お金以外の面での支援も必要 ②一律交付の現助成制度に対する意見集約や制度の見直しが必要 ③人口減少による役員等の担い手不足を考慮した組織体制への移行も必要
	地域づくり組織の支援による地域の活性化	山北地区の活性化事業に取り組む団体等への支援と育成	①団体どうしの情報交換、交流の場が必要 ②地域づくり活動の情報発信が不足している ③助成制度のわかりやすいPRが必要
人材育成・住民参加による元気な地域づくりとまちづくり協議会の充実 (企画部会)	人材育成による安定した地域づくり	地域づくりのための研修機会の提供とリーダーの養成	①研修の機会が少ない ②研修内容は身近な内容の方が参加しやすい ③参加しやすい研修体制・職場環境の整備が必要 ④リーダーとなる人材のネットワークづくりが必要(意欲の共有、孤立感の解消、情報の共有のため) ⑤役職を大勢の人が体験できる体制づくりが必要 ⑥中高年層の役職等経験者が若い年代に協力する体制づくりが必要 ⑦現代の状況(仕事や生活環境など)は昔と違うので、昔のようにできないこともあることへの理解も必要
		他地域・団体等との交流による地域づくりへの意欲の向上	①各種年代・団体等が意見交換をする機会がない ②交流は刺激や励みになるので、大切である
	住民参加による元気な地域づくり	広報活動の充実	①読める広報、読みたくなる広報ではない(広報が多すぎる、身近な話題が少ない、内容が難しい)
		地域づくりへの住民の参加機会の提供・参加の促進	①地域づくり楽習会は地域づくりへの住民参加を促し、理解を深めるために有効な事業である ②住民参加の機会をもっと増やす必要がある
	まちづくり計画の策定とまちづくり協議会の充実	まちづくり計画の策定と適切な進行管理	まちづくり計画の策定と適切な進行管理
まちづくり協議会の安定運営			①協議会へ若い年代、女性が多く参画できる体制づくりが必要 ②行依存型にならないよう、住民と行政と一緒に運営できる体制づくりが必要 ③地域づくりへの共通認識を持つための取り組みが必要